

平成31年度予算

予算総額171億2,460万円

一般会計 104億1,500万円
特別会計 67億 960万円

前年度増減額 △4億4,280万円 (増減率 △2.5%)

【概要】町の財政状況は、社会保障関係費や公共施設の維持管理費などの歳出が増大しているなか、固定資産税を中心とした歳入は増収が見込めず、長期的には財源不足がさらに拡大する見通しとなっています。そこで、現行のサービス水準を維持しながら、より持続可能な町政運営を目指して、新年度以降も引き続き固定資産税の税率引き上げを継続して行うことになりました。

このような極めて厳しい財政事情のもと、平成31年度は第6次総合計画のスタートから3年目を迎えます。実施計画事業の着実な執行と行財政改革アクションプランの推進を図るとともに、重点的に取り組むべき事項である『防災減災対策の強化』・『観光客受け入れ体制の強化』・『健康生活の推進』への効果的な財源配分に努めて、予算編成を行いました。

平成31年度一般会計予算の総額は104億1,500万円となり、前年度より6億6,500万円の減額となりました。

予算総額

歳入・歳出

【歳入】町税は、昨年に引き続き法人の業績好調が見込まれるほか、新規宿泊施設開業に伴い、前年度比1億3,000万円の増となります。町債は、中学校校舎の本体工事が終了したことから対前年比6億6,720万円の減となりました。また、ふるさと納税寄付金は昨年度と同じく2億5,000万円を計上しました。

【歳出】将来像の実現のために掲げる6つの「まちづくり」の基本目標に向けて事業を推進します。第1に「皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり」では、高齢者への生活支援コーナーの配置や子ども宅食サービスの開始とした幅広く住民に寄り添った福祉の充実を図ります。第

2に「未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり」として、来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックを契機に子どもたち国際親善を考えてもらう東京2020大会体験事業など教育やスポーツの面から人材育成に取り組みます。第3の「誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり」、第4の「環境にやさしく、安全・安心なまちづくり」の2つの視点から、住民の暮らしに直結する環境の整備や消防救急対策に取り組むべく、地震等災害対策事業や金時公園トイレ整備事業などに注力します。第5に「癒しと文化を提供する観光産業づくり」として観光資源の開発と活用を検討する箱根ファン創出事業などを推進し、さらなる町の活性化に繋がります。第6には「行政の効率的運営と官民協働体制の強化」として、電子町政モニター事業や庶務事務システム化推進事業などにより、行財政運営の効率化を推進します。

公債費 8億7,600万円
(前年度増減額 8,700万円)

町債(借入金)を返済するお金

土木費 5億2,916万円
(前年度増減額 7,434万円)

道路、公園整備、住宅管理などに使うお金

- ・金時公園トイレ整備事業
- ・橋りょう長寿命化改修事業
- ・地籍調査事業

観光費 5億2,628万円
(前年度増減額 11万円)

町の観光宣伝として開催する事業や産業振興などに使うお金

- ・日本遺産箱根八里活用事業
- ・箱根DMO支援事業
- ・箱根ファン創出事業

議会費 1億2,096万円
(前年度増減額 △239万円)

議会運営のために使うお金

農林水産業費 1億2,679万円
(前年度増減額 △2,045万円)

農林業や水産業の振興のために使うお金

- ・森林病虫害防除対策事業
- ・有害鳥獣対策事業
- ・間伐材搬出促進事業

その他 2億4,551万円
(前年度増減額 △9,532万円)

諸支出金、災害復旧費、予備費など

- ・公共下水道事業会計補助金

総務費 22億9,131万円
(前年度増減額 2億6,997万円)

町の事務・庁舎管理、選挙など町の総括的な事務にお金

- ・防災行政無線整備事業
- ・庁舎設備等整備事業
- ・ふるさと納税促進事業

民生費 16億5,164万円
(前年度増減額 △1,834万円)

福祉サービス、各種医療の助成など福祉全般に使うお金

- ・子育て世代地域包括支援等事業
- ・子ども宅食サービス事業
- ・総合保健福祉センター整備事業

衛生費 12億2,026万円
(前年度増減額 3,935万円)

保健衛生、ごみ処理、環境保全など衛生的な生活のために使うお金

- ・散乱ごみ・不法投棄対策事業
- ・生活習慣病予防推進事業
- ・斎場事務広域化推進事業

消防費 12億1,090万円
(前年度増減額 1億9,494万円)

消防・救急活動、防火水槽や消火栓の設置などに使うお金

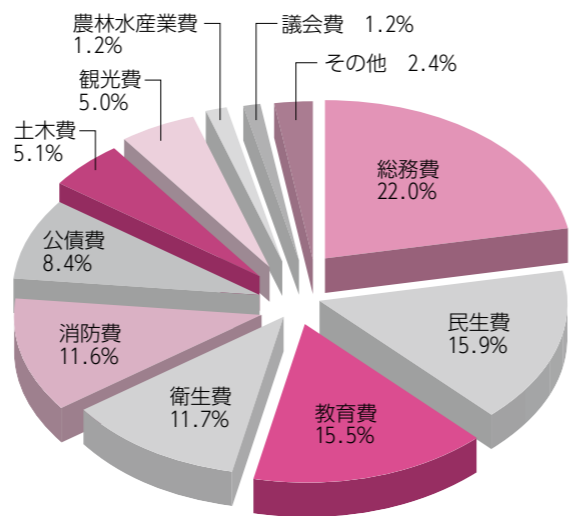
- ・湯本分署建設事業
- ・消防車両整備事業
- ・救急業務高度化推進事業

教育費 16億1,620万円
(前年度増減額 △11億9,423万円)

幼稚園、小・中学校の運営、文化財保護など教育全般に使うお金

- ・東京2020大会体験事業
- ・箱根関所設置400年記念事業
- ・小・中学校校舎等整備事業

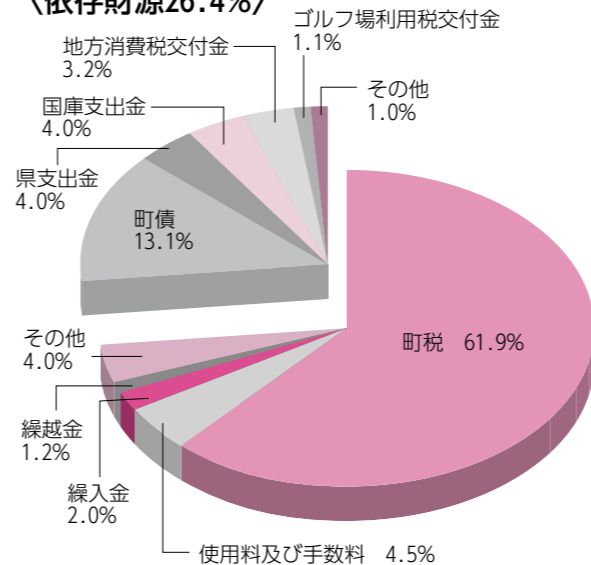
歳出



会計名	当初予算額	前年度増減額	増減率
特別会計	33億6,010万円	△5,610万円	△1.6%
国民健康保険	14億5,000万円	△1億1,500万円	△7.3%
後期高齢者医療	3億4,350万円	540万円	1.6%
介護保険	13億7,000万円	5,900万円	4.5%
4財産区	460万円	40万円	9.5%
温泉	1億6,400万円	△990万円	△5.7%
育英奨学金	2,800万円	400万円	16.7%
水道事業会計	7億 310万円	2,680万円	4.0%
公共下水道事業会計	26億4,640万円	2億5,150万円	10.5%

歳入

〈依存財源26.4%〉



〈自主財源73.6%〉

町の予算には、一般会計とは別に「国民健康保険ほか8つの特別会計」と「水道事業会計」「公共下水道事業会計」があります。これらは特定の事業を行う場合や、町特有の仕事をするために、一般会計と区別して設けられており、特定の収入を特定の支出に充てるなど、それぞれの会計内でやりくりしています。

特別会計

●町税の内訳

税目	予算額	前年度増減額
固定資産税	45億1,820万円	1億5,950万円
町民税	10億3,150万円	△2,570万円
入湯税	7億610万円	100万円
町たばこ税	1億6,180万円	△590万円
軽自動車税	2,840万円	110万円
合計	64億4,600万円	1,300万円

自主財源(73.6%)

	予算額	前年度増減額
町税	64億4,600万円	1,300万円
(町に納められる税金)		
使用料および手数料	4億6,745万円	△4,595万円
(施設の利用料や住民票などの交付手数料として支払われるお金)		
繰入金	2億1,113万円	△1,166万円
(基金の取り崩しにより繰り入れるお金)		
繰越金	1億3,000万円	1億円
(前年度から繰り越されるお金)		
その他	4億1,173万円	780万円
(財産収入、分担金および負担金、寄付金など)		

依存財源(26.4%)

	予算額	前年度増減額
町債	13億6,490万円	△6億6,720万円
(国や県、金融機関から借り入れるお金)		
県支出金	4億1,411万円	△5,566万円
(事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金)		
国庫支出金	4億1,538万円	△1億3,833万円
(事業など特定の目的の財源として国から交付されるお金)		
地方消費税交付金	3億3,100万円	1,310万円
(地方消費税として徴収し、町の人口割合などに応じて国から交付されるお金)		
ゴルフ場利用税交付金	1億1,000万円	0円
(県に納められたゴルフ場利用税からゴルフ場のある町に交付されるお金)		
その他	1億1,330万円	290万円
(地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金など)		